



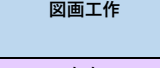




(病弱)

# 各教科等チェックシート

学部・学年	氏 名
小学部〇年	〇〇 〇〇

小学部・小学校版

教科等	内 容	知的障害がある			知的障害がない						備考			
		小学部（段階）			小学校（学年）						具体的な指導内容	指導場面 教科・単元等		
		1	2	3	1	2	3	4	5	6				
生活 (特別支援学校)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生活科</div>  	ア 基本的生活習慣													
	イ 安全													
	ウ 日課・予定													
	エ 遊び													
	オ 人との関わり													
	カ 役割													
	キ 手伝い・仕事													
	ク 金銭の扱い													
	ケ きまり													
	コ 社会の仕組みと公共施設													
サ 生命・自然														
シ ものの仕組みと働き														
国語 ※ (特)2段階 同観点 	知識及び技能													
	A 聞くこと・話すこと													
	B 書くこと													
	C 読むこと													
社会 (小学校3～6年)														
算数 	A 数と計算													
	B 図形													
	C 測定													
	D データの活用 (数学的活動)													
理科 (小学校3～6年)	A 物質・エネルギー													
	B 生命・地球													
生活 (小学校1,2年)														
音楽 	A 表現 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">音楽</span>													
	B 鑑賞													
図画工作 	A 表現 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">図工</span>													
	B 鑑賞													
家庭 (小学校5・6年)	A 家族・家庭生活													
	B 衣食住の生活													
	C 消費生活・環境													
体育 	A 体づくり運動遊び (小2と3段階 体づくり運動)													
	B 器械・器具を使った運動 3段階 器械・器具													
	C 走・跳の運動													
	D 水遊び													
	E ボールを使った運動													
	F 表現遊び													
	G 保健 *小学校 項目													
外国語 	知識及び技能													
	思考力・判断力・表現力等													
	外国語活動 ※(1)													
	特別の教科道徳※(2)													
	総合的な学習の時間													
特別活動														

**記載者から**  
 本児童は、小学校に準ずる  
 (知的障害がない) 教育課程で  
 学ぶため、チェックシートにつ  
 いては当該学年欄にチェックし  
 た。



**シート作成時のポイント**  
 病弱特別支援学校に在籍する児童生徒の中には、体調不良等による長期欠席や入院の繰り返し等で、一定期間学習ができないことがある。そのため、一部下学年の学習内容を取り上げることもあることから、本シートの活用については、ケースに応じて活用の幅も更に広がると思われる。

※(1) 「外国語活動」：知的特別支援学校の小学部において、必要に応じて設けることができる。

(病弱)

# 自立活動フローシート



学部・学年	小学部〇年	氏名	〇〇 〇〇
-------	-------	----	-------

発達の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさについて情報収集

収集した情報を自立活動の区分に即して整理

実態把握	<b>健康の保持</b> ・病状や治療方針は医師から説明を聞き、1日の塩分量や運動制限について理解している。 ・手洗いうがいや、マスクの着用等、感染予防に努めることができている。	<b>心理的な安定</b> ・母親がほぼ毎日来院し精神面を支えているため、比較的安定している。 ・前籍校の友達に会えないさみしさや、学習の遅れに不安を抱えている。	<b>人間関係の形成</b> ・病室の友達とも打ち解け、良好な人間関係を築くことができている。 ・誰に対しても優しく接し、下級生や幼児から慕われている。	<b>環境の把握</b>	<b>身体の動き</b>	<b>コミュニケーション</b> ・相手や場所に合わせた関わりができている。

### 記載者から

入院後の様子を院内学級担当者から聞き取り、情報を整理した。細かな実態把握については、主治医からの登校の許可が下りてから情報収集を行った。これらの内容についても、適宜、自立活動フローシートに記入するようにした。

3年後にめざす姿	自己管理能力を身に付け、再発防止に努める。
----------	-----------------------

退院までの目標	病気への理解を深め、感染予防に努めることができる
---------	--------------------------

### 記載者から

入院は、約3か月程度であるため、長期目標の欄を「退院までの目標」と修正した。  
本校では、児童生徒によって在籍する期間が異なるため、「退院までの目標」とすることで、より個に応じて使えるようになるのではないかと思います、修正して活用している。

指導目標を達成するために必要な項目の選定

選定した項目	<b>健康の保持</b>	<b>心理的な安定</b>	<b>コミュニケーション</b>
	①生活のリズムや生活習慣の形成	①情緒の安定	①基礎的能力
	②病気の状態の理解と生活管理	②状況の理解と変化への対応	②言語の受容と表出
	③身体各部の状態の理解と養護	③障害による学習上は生活上の困難を改善・克服する意欲	③言語の形成と活用
	④障害の特性の理解と生活環境の調整		④コミュニケーション手段の選択と活用
	⑤健康状態の維持・改善	⑤状況に応じたコミュニケーション	

### 記載者から

自立活動フローシートに入力したことで、各教科の目標達成のためには、自立活動の視点から配慮や支援を入れる必要性を再確認することができた。前籍校との学習の進捗を合わせることに加え、精神的な不安を軽減できるような工夫も加えたい。

コピーして利用を

選定された項目を関連付け具体的な指導内容を設定

具体的な指導内容	〈自立活動〉 ・食事や睡眠等の状態を毎日「生活チェックカード」に記録することを通して、自身の生活課題に気付いたり、課題解決に向けて行動したりできるように指導する。毎週月曜日には、今週の目標を立て、意識して生活できるようにする。 ・退院後にも自ら感染予防に努められるように、養護教諭と連携して手洗いうがい・歯磨きの指導を行う。適切な方法だけでなく、必要性についても考えられるようにし、より深い学びにつなげる。	〈教科学習〉 ・退院し在籍校に復学したときの学習の遅れに悩まないように、前籍校の担任と連絡を取り合い、進度を合わせた学習を行う。また、前籍校との交流学習をおして安心感と自信をもてるようにする。具体的には、作文や作品を前籍校に送り、友達に紹介してもらい、友人から感想をもらうことで、クラスの一員である安心感と自覚をもてるようにする。 ・文化祭での英語劇の発表に取り組むことで、練習での上達を感じたり、他者からの称賛を受けたりして、自信をもって大勢の前で発表する経験を積めるようにする。
----------	---	---

指導場面(各教科・単元名)	教科等	単元名等	教科等	単元名等	教科等	単元名等
	国語	「意見交換会」をしよう	保健	不安や悩みへの対処	道徳	おばあちゃんが残したもの
	社会	くらしを支える食料生産	家庭	元気な毎日と食べ物	自立活動	塩分を考えたお菓子を作ろう

※ 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園) (P. 160~163)

この内容で授業に取り組んだ。

(病弱)

# 小学部普通学級 第○学年 家庭科学習指導案

日 時 令和元年○月○日 (○)

○校時

場 所 小学部○年教室

指導者 ○○ ○○



1 題材名 「食べて元気に」(開隆堂 わたしたちの家庭科5・6)

2 題材について

### 授業者から

本單元では、入院している病院の献立表や前籍校の給食献立表を事前に準備し計画した。前籍校の友達が食べている給食について触れることで、1か月後の退院への期待感をもち、長期間の入院生活でのストレス軽減を図るようにした。



(1) 題材観

本題材は、小学校学級の家庭科の基礎(1)ア 食事の役割と日常の食事の大切さ(2)ア 体に必要な栄養素の種類と働き イ 食品の栄養的な特徴と組合せ(3)エ 米飯及びみそ汁の調理(各項目略記)に該当する。

本題材では、毎日の食事や学校給食で使われている食品に関心をもち、食事の役割や栄養に関する基礎的・基本的な知識や調理の技能を身に付けることをねらいとしている。そのために、五大栄養素を組み合わせたバランスのよい献立を考え、ご飯とみそ汁の調理を行う。

腎臓病の治療をしている児童にとって、心身の成長や健康の保持・増進のために自らの食生活を管理していく能力を身に付けてほしいと考え、自立活動の内容も加えて設定した。

(3) 指導観

### 授業者から

自立活動フローシートを記入したことで、改めて自立活動の内容を含め単元化した。

本題材は、第一次に食事の意義に米飯の調理を行う計画である。

### 授業者から

前籍校の担任と学習内容について、適宜、情報交換をしている。食の役割や働きについて、病弱特別支援学校として、児童の病状に適した指導をしてほしいという前籍校のねがいも含めて、本単元の内容を検討した。家庭科の内容に加え、病気の発症により摂取可能な塩分量等が変わったことから、自立活動の時間における指導も2時間設定し、退院後に前籍校で予定されている、味噌汁の調理実習に対する不安の軽減を図ることができるよう単元を計画した。



ることで、バランスのとれた献立作りについてより理解を深めていきたい。

第二次以降は、ご飯とみそ汁の調理を行う活動で、退院後に前籍校で行う予定である。グループの友達と意見を交わし、楽しみながら学習に取り組んでほしいと考える。また、塩分量の高いみそ汁については、退院後の食事面で不安を感じる大きな要因の1つとなる。そこで、第一次の取り組みと合わせて自立活動でも取り上げることで教科での学びを更に深めていく。安心して調理実習に取り組み、病気に合わせた食事を考えるきっかけにしたい。

### 授業者から

本単元は、前籍校と連絡を取りながら学習を進めた。病状との関係から、「塩分」についての授業を行う必要があると考えた。自立活動フローシートで整理したように、今後は病気への理解を深め、感染予防に努めることができるような力を身に付ける必要がある。友達に会えない寂しさや、学習の遅れに対する不安を取り除くことができるような支援についても考えていきたい。

日 時 令和元年〇月〇日 (〇)

〇校時

場 所 小学部〇年教室

指導者 〇〇 〇〇

## 1 題材名 「食べて元気に」(開隆堂 わたしたちの家庭科5・6)

### 2 題材について

#### (1) 児童の実態

対象児童は、慢性疾患の入院治療のために転入してきた女子〇名で、治療に前向きに取り組んでいる。安静度に応じた活動を行い、自分の病気を意識して学校生活を送っている。学習では、どの教科も既習事項は確実に定着が図られており、学年相応の学力が身に付いている。教師の話をよく聞き、課題に取り組むことができるが、自信をもって自分の考えや意見を伝えることは少ない。

家庭科に関しては、裁縫を好み、手縫いやミシンでの小物作りでは、何を作るか熟考してから作業に移る様子が見られた。食物の話題は少ないものの、外泊時の楽しみは母親の手料理であり「母と一緒にハンバーグをつくりたい」と事前アンケートに記入している。また調理活動は、今回の入院を機に、安静度が高い時期にも無理なく取り組むことができることから、興味が増しているようだ。

病棟では、好き嫌いせずにはほぼ完食しているが、病院食はどのような点で配慮されているのか、具体的な食の役割や栄養に関する基礎知識等についての理解は十分とは言えない。

#### (1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領家庭編の内容B 日常の食事と調理の基礎(1) ア 食事の役割と日常の食事の大切さ(2) ア 体に必要な栄養素の種類と働き イ 食品の栄養的な特徴と組合せ(3) エ 米飯及びみそ汁の調理(各項目略記)に該当する。

本題材では、毎日の食事や学校給食で使われている食品に関心をもち、食事の役割や栄養に関する基礎的・基本的な知識や調理の技能を身に付けることをねらいとしている。そのために、五大栄養素を組み合わせたバランスのよい献立を考え、ご飯とみそ汁の調理を行う。

慢性疾患の治療をしている児童にとって、心身の成長や健康の保持・増進のために自らの食生活を管理していく能力を身に付けてほしいと考え、自立活動の内容も加えて設定した。

#### (3) 指導観

本題材は、第一次に食事の意義や役割を理解し、食品グループや五大栄養素ごとの類別に取り組み、第二次に米飯の調理を行う計画である。

本時は、本題材の第一次3時間目にあたり、栄養のバランスがとれた献立を考えることを目標としている。そのためにまず、自らの食生活を振り返って栄養のバランスがとれた食事について考える。食事に興味をもてるよう前籍校の給食の献立を提示する。次に、外泊時の夕食献立を考え、楽しみながら献立を作ることを通して、五大栄養素の理解を促したい。その際、実物大の料理カードを活用し手元で操作しながら献立を考える。自分の考えを教師と共有し、対話を楽しんだり、他者の意見に刺激を受けたりしながら献立作りに取り組んでほしい。最後に、教師が栄養バランスの偏った献立を提示し、不足している栄養素に気付き、補う食材を考えることで、バランスのとれた献立作りについてより理解を深めていきたい。

第二次以降は、ご飯とみそ汁の調理を行う活動で、退院後に前籍校で行う予定である。グループの友達と意見を交わし、楽しみながら学習に取り組んでほしいと考える。また、塩分量の高いみそ汁については、退院後の食事面で不安を感じる大きな要因の一つとなる。そこで、第一次の取り組みと合わせて自立活動でも取り上げることで教科での学びを更に深めていく。安心して調理実習に取り組み、病気に合わせた食事を考えるきっかけにしたい。

学習全体を通して、栄養バランスの大切さに気付き、考えを深め、これからの自身の生活と結び付けてより良い生活を送る姿につなげていきたいと考えている。

### 3 研究とのかかわり「自立した学びができる児童の育成を目指して」

〈小A仮説〉 児童一人一人の実態を的確に把握して指導方法の工夫をすれば、主体的に課題解決にむかう児童が育つであろう。

#### 仮説との関連Ⅰ「適切な実態把握について」

- ・聞き取りや家庭科アンケートから、食に関する興味やこれまでの調理経験を把握する。 (別紙1)
- ・継続して記録している生活チェックカードから、児童の生活習慣を把握する。 (別紙2)
- ・担任及び各教科担当教員が、学習に向かう姿を出し合い、多角的な視点とする。 (別紙3)

#### 仮説との関連Ⅱ「指導方法の工夫について」

- ・課題に興味をもって取り組めるように、具体的で分かりやすい教材教具を用意する。 (展開工夫1)
- ・教師が提示した例題に対して、問題点や改善点を考え、より深い学びができるようにする。(展開工夫2)
- ・教師との対話を楽しみながら学習することで、他者の考えにも触れられるようにする。



主体的に課題解決に向かう姿 = 学習したことを日常生活に結びつけてより深めていく姿

### 4 題材の目標

- なぜ食べるのかを考え、日常の食事や使われている食品に関心を持ち、栄養のバランスを考えた食事を大切にしようとする。 **【主体的に学習に取り組む態度】**
- 三つの食品グループや五大栄養素のグループ分けをし、栄養のバランスがとれた献立をつくり、発表することができる。 **【課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等】**
- ご飯とみそ汁に関心を持ち、調理することができる。 **【基礎的・基本的な知識・技能】**

### 5 指導計画 (10時間扱い)

〈自立活動とのかかわり①〉

	時配	学習活動	目標〈自立活動区分〉
	1	・自分の病気について調べ、食事面で気を付けることを考える。	・再発予防に食生活が大きくかかわっていることが分かり、自分で気をつけられそうなことを考えることができる。 〈自立-1健康の保持(2)〉





	時配	学習活動	評価基準【観点】
第一次 (3時間)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を振り返りながら、食事の意義や役割を考える。</li> <li>献立表をもとに食品を三つのグループに分ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の食事に関心を持ち、食事の役割と栄養を考えた食事をしようとしている。【学習に取り組む態度】</li> <li>食品に含まれる栄養素の体内での主な働きにより類別できることを理解している。【知識・技能】</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品に含まれる五大栄養素と体内での主なはたらきについて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品に含まれる栄養素が体の成長や活動のもとになることに関心をもっている。【学習に取り組む態度】</li> <li>五大栄養素の種類と働きについて理解している。【知識・技能】</li> </ul>
	1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前籍校の給食の栄養バランスを確認する。</li> <li>栄養バランスを意識した献立を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>五大栄養素をバランスよく取り入れた食事の献立を考えることができる。【学習に取り組む態度】</li> <li>自分が考えた献立を工夫した点を発表したり、提示された献立を栄養のバランスがとれた献立に直したりすることができる。【思考力・判断力・表現力】</li> </ul>

〈自立活動とのかかわり②〉

	時配	学習活動	目標〈自立活動区分〉
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>退院後の食事面で不安に思っていることを伝える。</li> <li>1日の塩分量6gを具体的に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>退院後の不安な気持ちを打ち明け、前籍校で安心して生活ができる。〈自立-2心理的な安定(3)〉</li> <li>退院後に前籍校で扱うみそ汁の調理実習に、安心して取り組めるように塩分量を調べることができる。〈自立-2心理的な安定(3)〉</li> </ul>

	時配	学習活動	評価基準【観点】
第二次 (7時間)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご飯とみそ汁をつくることに興味もつ。</li> <li>ご飯とみそ汁の調理が能動的に進められる実習計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご飯とみそ汁の調理実習に関心をもっている。【学習に取り組む態度】</li> <li>二つの調理ができるように手順を考えることができる。【思考力・判断力・表現力】</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の栄養素や特徴を知る。</li> <li>おいしいご飯の炊き方を調べ、ごはんを炊く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おいしいご飯の炊き方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。【思考力・判断力・表現力】</li> <li>ご飯の炊き方が分かり、炊くことができる。【知識・技能】</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>みその栄養素や特徴、種類を知る。</li> <li>みそ汁の具材の組み合わせを工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の栄養素を調べ、みそ汁の具材の組み合わせを工夫している。【思考力・判断力・表現力】</li> <li>みそ汁のつくり方が分かり、つくることことができる。【知識・技能】</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習を振り返り、今後の目標をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習で学習したことを生活に生かそうとしている。【学習に取り組む態度】</li> </ul>

※第二次「ご飯とみそ汁をつくろう」は退院後に前籍校にて実施する。

配慮① 退院時の教育支援会議にて、児童の病状に適したみその分量を具体的に提示し、1日の塩分摂取量に制限があることを伝える。

配慮② 自立活動で学習したことを模造紙にまとめ、前籍校に持参することで、児童が自ら教師や友達に説明できるようにする。

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

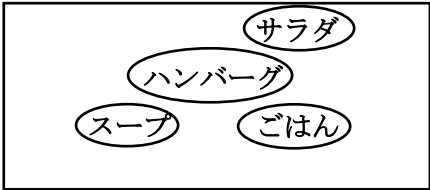
○五大栄養素をバランスよく取り入れた食事の献立を考えることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

○自分が考えた献立と工夫した点を発表したり、提示された献立を栄養のバランスがとれた献立に直したりすることができる。

【課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等】

### (2) 本時の展開 (3時間目/10時間)

時配	学習内容および児童の活動	指導上の留意点	教材等
7分	<p><b>1 前時までの学習を振り返る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三つの食品グループの特徴や五大栄養素を想起する。</li> </ul> <p><b>2 本時の学習課題をつかむ。</b></p> <p>栄養のバランスがとれた献立を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの学習を想起し、学習課題を考え、記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズ形式にして、楽しみながら五大栄養素を確認できるようにする。分からないときには、前時までのワークシートや掲示している栄養素表を見ても良いことをあらかじめ伝える。</li> <li>キーワードになる言葉を確認し、学習課題をより意識できるようにする。</li> </ul>	クイズ 栄養素表  ワークシート
7分	<p><b>3 前籍校の給食献立で、栄養のバランスを確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>献立表をもとに、食材を五大栄養素でグループに分ける。</li> <li>気付いたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養のバランスを調べるにあたり、前籍校の献立を活用し、興味をもてるようにする。</li> <li>献立表の三つのグループをヒントに五大栄養素表に当てはめられるようにする。</li> <li>多い食品群や少ない食品群等、気付いたことを記入できるワークシートを用意する。</li> </ul>	前籍校の献立表  実物大そのまんま料理カード
10分	<p><b>4 外泊時の夕食献立を考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お盆ボードに絵カードを貼りながら献立を完成させる。</li> </ul> <p>(想定される児童の献立)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しみにしている外泊時の献立として、児童の好きな料理をあらかじめ想定した上で、数種類の料理カードを用意しておく。</li> <li>お盆に見立てたボードに、実物大の料理カードを貼りながら活動する。</li> <li>五大栄養素メモ用紙を用意し、料理カードの裏に貼られた食材カードを五大栄養素で整理しながら、足りない栄養素を補えるようにする。</li> <li>迷っている時は、最初にメインとなる料理を考え、不足している栄養素を他の料理で補うように助言する。</li> <li>メインとなる料理の食材カードは、五大栄養素ごとに色分けし、活動に取りかかりやすくする。それ以外の食材カードは色分けをせずに、前時までの学習を想起したり、教科書を見たりして取り組むように促す。</li> </ul> <p>工夫1 活動に興味をもって取り組めるように具体的に分かりやすい教材教具を用意する。</p>	実物大そのまんま食材カード お盆みたてボード 五大栄養素メモ用紙

<p>10分</p>	<p>・完成させた献立を発表する。</p> <p><b>5 教師の献立について栄養バランスを考える。</b></p> <p>・入っている食材を五大栄養素のグループに分ける。</p> <p>・バランスのとれた献立に変える。</p> <p>・気付いたことをワークシートに記入する。</p> <p>〈教師が提示する献立〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> </div>	<p>・発表が品名の発表のみだったときは、黒板に貼った献立を指し示しながら、組み合わせた理由や工夫した点も交えて話すように促す。</p> <p>評 五大栄養素のバランスを考えて外泊時の献立を考えたことができたか。 (観察・ワークシート・発表)</p> <p>・不足している栄養素が分かるようなバランスが偏った献立を提示する。</p> <p>・料理カードの裏にヒントになるよう食材を明記しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>工夫2：教師が提示した例題に対して、問題点や改善点を考え、より深い学びができるようにする。</p> </div> <p>・不足している栄養素の料理カードを用意しておく。複数枚ある中から、自分で選んでバランスのとれた献立に変えることができるようにする。</p> <p>評 教師の献立のバランスの悪さに気づき、栄養のバランスのとれた献立に変えることができたか。 (観察・ワークシート・発表)</p>	<p>教師提示の献立</p> <p>ワークシート</p>
<p>8分</p>	<p><b>6 学習の振り返りをする。</b></p> <p>・本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>献立をつくるときは、五大栄養素のバランスを考えて食品を組み合わせる。</p> </div> <p>・振り返りカードを書く。</p> <p><b>7 次時の学習を知る。</b></p> <p>・病院食を知る。</p>	<p>・本時の学習のポイントになる言葉の「五大栄養素」「バランス」を確認する。</p> <p>・本時を振り返り、分かったことや気付いたことを書くよう振り返りカードを用意する。</p> <p>・当日の病院食を提示して、更に気を付けている食事面について取り上げ、次時の自立活動で詳しく調べていくことにする。</p>	<p>振り返りカード</p> <p>ワークシート</p> <p>病院食の献立</p>

### (3) 評価

○五大栄養素をバランスよく取り入れた食事の献立を考えたことができたか。

【主体的に学習に取り組む態度】

○自分が考えた献立と工夫した点を発表したり、提示された献立を栄養のバランスがとれた献立に直したりすることができたか。

【課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等】



## 7 板書計画

④ 栄養のバランスがとれた献立を考えよう。

〈〇〇小学校の給食〉

炭	脂	た	無	ビ

〈気付いたこと〉

- ・
- ・

〈Aの献立〉

〇くふう

〈Tの献立〉

⑤

献立をつくるときは、五大栄養素のバランスを考えて食品を組み合わせる。

## 8 資料 (別添)